

促成イチゴ新品種「群馬I-RG1（仮称）」の特性

「群馬I-RG1（仮称）」は、11月中旬から収穫可能な極早生の一季成りイチゴ品種です。「やよいひめ」と比較して、イチゴ販売単価が高い年内収量および2月までの前期収量、総収量が多く、甘い香りを伴う良食味品種です。

1. 草 姿

「群馬I-RG1」



「やよいひめ」



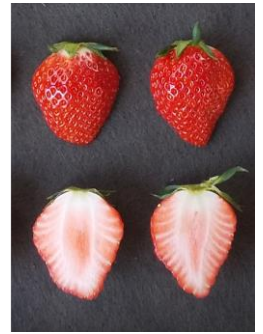
（※2022年12月6日撮影）

2. 果 実

「群馬I-RG1」

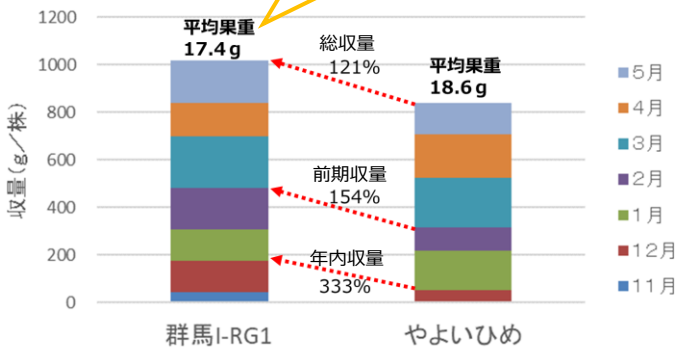


「やよいひめ」



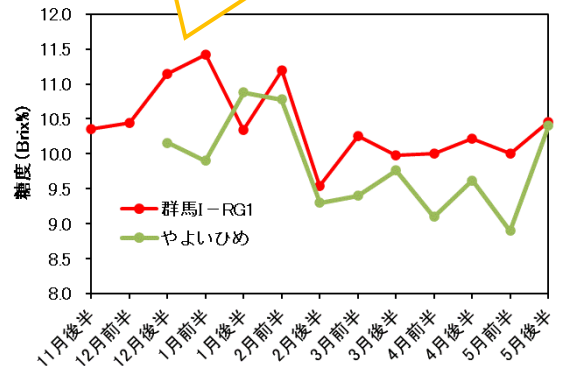
3. 収量性

極早生、高収量



4. 糖 度

約0.5度 (Brix%) 高い



5. 香 り

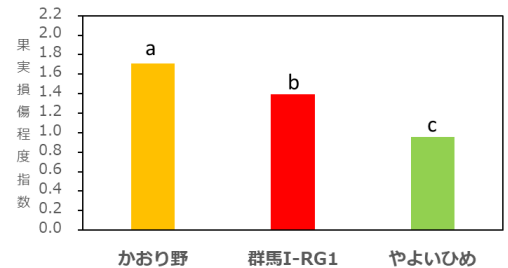
甘い香り👍

品種	甘い香り	香りの好ましさ
群馬I-RG1	6.3	5.8
やよいひめ	4.8	5.3

注) (株) 味香り戦略研究所の官能評価 (評価者6名) の平均値。

- 甘い香り
とても強い「7」～とても弱い「1」の7段階評価。
- 香りの好ましさ
とても好ましい「7」～とても好ましくない「1」の7段階評価。

6. 果実の損傷程度（収穫時）



注) 収穫果実の外観の損傷程度を3: 果実の潰れ、果皮のスレ、果汁の滲出、2: 潰れを伴わない果皮のスレ・オセ傷、1: 軽微なスレ・オセ傷 (ツヤなし)、0: 果実の損傷なしの4段階の指数で評価した。
※異なる英小文字はスティーブル・ドゥワースの検定で有意差あり (p<0.05)。

利用上の留意点

- 「群馬I-RG1」の芯止まり株発生率は「やよいひめ」より高いため、育苗後半まで適切に肥料を効かせた管理が必要です。
- 「群馬I-RG1」は果梗枝が「やよいひめ」より長いため、土耕栽培では畝の高さや幅、畝間等の調整が必要となる場合があります。
- 炭疽病、萎黄病および疫病に対する抵抗性は「やよいひめ」と同程度であり、適期防除が必要です。

果皮は「やよいひめ」の方が強い